

「地域課題分野」(平成24年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
雨量履歴・水位履歴を考慮した河川堤防の安定性のリアルタイム予測方法の開発と安全性向上に関する研究 (研究期間：H24年～H26年)	名古屋工業大学 前田健一	A
<研究概要> <p>実験、解析、実堤防モニタリング等から、「集中豪雨・急激な河川水位上昇時」と「継続時間が長い高水作用時」のシナリオに対する堤防の損傷を考慮し、水・空気・土の三相系の考察に基づいて、リアルタイムに堤防の安定性評価を行う考え方を提案した。</p> <p>さらに、比較的入手しやすいデータである粒度分布を用いた指標から、危険箇所を絞り込む方法を示した。</p> <p>これらの成果は、効率的な維持管理、効果的避難計画に貢献できると考える。</p>		
<事後評価コメント> <p>土質、降雨、水位のモニタリング情報から堤内の湿潤挙動や間隙空気挙動の把握、堤防内の水分量の予測モデルの構築などの成果を組み合わせることによって堤防の安全性をリアルタイムで予測可能とする手法を提案したことなどから、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。</p> <p>今後は、XRAINなどのリアルタイム降雨情報を有効利用した実践的な試験運用や安全性照査への活用方法の検討など研究を進展させ、実践に移されることが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い